

藤田佳三展 京の雅陶  
二〇二六年 四月十六日(土) ～ 二十五日(月)  
会期中無休



料金後納  
ゆうメール

## 藤田佳三展 京の雅陶

2016年 4月16日(土) ~25日(月)

営業時間 11時~18時

作家在廊日 4月16日(土)・17日(日)・18日(月)

藤田佳三さんは1963年京都市生まれ。現在、京都府亀岡市で染付や赤絵の器を制作されています。高校は美術工芸の学校、大学も陶芸を専攻、以来、ずっと焼き物に携わるお仕事です。35年を超える経歴のスタート時には、伝統的な京焼の故・小川文齋氏にされたことがあります。独立後は京都ならではの問屋仕事もこなし、食器を中心にした作家として活動されています。

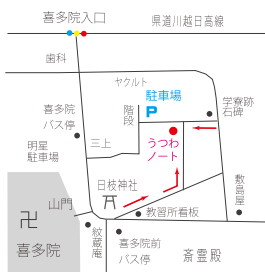
お作りになる器は、元来、朝鮮の白い粉引をベースにしたものですが、そこに染付や赤絵の文様を描くことで藤田さんの特色ある器を生み出してきました。通常、染付や赤絵は磁器土をベースとした硬質なものが多いですが、藤田さんの器は、陶土を用いて白化粧を施した後に絵を描くことで、柔らかな印象の器に仕上がっているのが特徴的です。また絵付けにおいては、安南手と呼ばれる滲んだような染付、宋赤絵のように余白のある絵柄など、研ぎ澄まし過ぎない甘手で洒落なタッチが、日常的な食器として親近感を呼び起こすのです。

しかしなんといっても最大の魅力は、京都の器づくりの経験で培われた雅な気品を備え持っていることではないでしょうか。今回の個展では、京都の地から見たアジアから中東までのイメージを捉えた器を発表して下さる予定です。京都の雅陶、藤田佳三の世界をたっぷりご堪能ください。

店主

### ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]  
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]  
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)



長須赤絵四方鉢



染付神獸香炉



染付輪花鉢



紅安南茶鉢



染付花入



紅安南鉢



鉄絵鉢



鉛線彫花入

### 藤田佳三プロフィール

1963年 京都市生まれ  
1982年 京都市銅駝美術工芸高校修了  
1986年 京都芸術短期大学陶芸専攻科修了  
1987年 小川文齋氏に師事  
1988年 走泥社・林秀行氏に薫陶を受ける  
1990年 兵庫県丹波立杭にて修行  
1993年 京都府亀岡市にて独立開業  
2016年 現在、同地にて制作